

第一学期終業式「式辞」

4月に新入生2名を迎え、4名でスタートした湯本中学校の67日間の1学期が本日無事に終了することができます。1年生は、はじめての中学校生活に慣れるまでに少し時間がかかったかと思いますが、今ではすっかり中学校生活を楽しんで生活できるまでになりました。3年生は、最上級生という自覚を大いに持って後輩の面倒を見ながら、1日1日を大切に過ごしている姿が印象的でした。

さて、今年の1学期はいつもの年と大きく違う年になりました。新型コロナウイルス感染拡大防止のために、4月22日から5月13日まで臨時休校となりました。その間、家にいることがほとんどで、学校で友だちと気軽に会話することもできずに、さびしい思いをしたこともあったと思います。また、先生方はみなさんの家庭での過ごし方を心配したり、授業ができずに学習の遅れをどうするかを考えたりすることも多くありました。

しかし、5月14日から授業が再開され、みなさんの元気な顔を見て、先生方全員とてもうれしく感じたことを覚えています。それから約2ヶ月半の間、今までにないことがたくさんありました。湯本中学校では、「う・た・し・て・マス・か」を合い言葉に新しい生活様式の中での学校生活を送りました。また、3年生のみなさんにとっても残念な思いをさせてしまった中体連大会の中止もありました。

そのような中でも、みなさんは、毎日の授業を真剣に受け、部活動に打ち込み、会津学習旅行や森林環境学習などの行事を大切にしながら、1日1日を楽しく充実して過ごすことができました。本当に立派でした。みなさんの前向きな姿勢に、「ピンチをチャンス」という姿を見ることができました。

さて、明日から24日間の夏休みが始まります。いつもより10日余り短い夏休みですが、それぞれの計画にしたがって生活することになります。部活動や学び舎などで、学校で過ごす時間もありますが、家族の一員として、その役割を果たしながら家庭で過ごす時間が多くなります。

人間は弱いところがあるので、自分の計画にしたがって完璧に過ごせる気持ちの強い人ばかりではありません。そのような時には、計画通りに進まなかったことを含めて計画を立て直し、前向きにもう一度取り組んでみてください。つまづいたって、もう一度やり直せばいいのです。そのような小さな経験を積み重ねることで強い気持ちが育ってくるものです。

最後に、夏休み明けに、みなさんの心と体がさらに成長して元気に登校してくれることを願って、式辞といたします。

令和2年7月31日

天栄村立湯本中学校長 渡部 幹雄